

- 経理上手くんα ProⅡ 【学校法人】VERSION:9.111
- 経理上手くんαクラウド ProⅡ 【学校法人】・経理上手くんαクラウド SE ProⅡ 【学校法人】
VERSION:9.111

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7・8.1 搭載機へのインストールは不可となっています。

- ◆ 登録・入力
 - 元帳検索
元帳検索業務において、[F11 貸借修正] を行っている際に資金調整科目区分が設定できるように対応しました。
- ◆ 出力
 - 消費税額試算表・集計表・課税売上割合
消費税額集計表の出力時に表示するカナ・太枠についての表示を変更しました。
- ◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“学校法人 d b (VERSION: 9.111) の変更点” を参照してください。

ご注意

- 他の I C S システムとマスターのやり取りを行われる場合は、他の I C S システム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

修正

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

- ① 摘要登録画面で複合仕訳の編集を行っている際に、最終行以外で行削除し、明細行を追加した場合、消した行に上書きするような状態で登録されていたのを修正しました。
- ② 証憑/カード/通帳 読取・入力
 - ・ 白紙のファイルまたは白紙を含む複数ページの PDF ファイルを認識すると、不正終了および破損した状態で内部的に保存されていたのを修正しました。
 - ・ 摘要登録画面で複合仕訳の編集を行っている際に、最終行以外で行削除し、明細行を追加した場合、消した行に上書きするような状態で登録されていたのを修正しました。
 - ・ 摘要仕訳編集画面での CSV 摘要の設定により置換の設定が初期化されていたのを修正しました。※ 証憑読取は電帳法対応オプションをご契約のみ利用可能です。

2) 元帳検索

- ① 下記の条件に該当している際に「仕訳の続きを表示」ボタンを何度か押していると、仕訳が表示されない場合があったため、修正しました。
《条件》
 - (1) 一括税抜きマスター（各月）
 - (2) 1 つの科目に入力済み仕訳が 1000 仕訳以上
 - (3) 複数の部門が存在する
 - (4) 複数月に仕訳入力がある

3) チェックリスト

- ① 用紙サイズを「A4 用紙・横」、「税額を出力しない」と「消費税区分を出力しない」にチェックを付けた状態で、仕訳 19 件を [F3 Excel 出力] すると、最終仕訳が表示されず仕訳が 18 件しか出力されない不具合を修正しました。
- ② 会社選択により既存マスターから新規マスター（チェックリストを初めて起動するマスター）に切り替えた場合、一部の項目において切り替え前のマスターの状態を引き継いでしまっていたのを修正しました。
《該当項目》
 - ・ 「作成者・修正者情報を表示」
 - ・ 「枝番名称を出力する」
 - ・ 「部門名称を出力する」
 - ・ 「インボイス登録番号を出力する」
 - ・ [F6 条件設定] の「<この間出力済み>の文言を出力しない。（通常出力時）」
 - ・ 「付箋指定をする」がチェック ON 時に表示される 5 色分のチェック
- ③ 「1 行出力」にチェックを付けた状態で、用紙サイズを「A4 用紙・横」⇔「B4 用紙・横」と切り替えた際に、「証憑番号を出力する」の設定が行えなくなっていたのを修正しました。
- ④ 「付箋コメントを 20 文字出力する」と「1 行出力」の両方にチェックを付けている状態で「付箋コメントを 20 文字出力する」のチェックを外した際に、「証憑番号を出力する」の設定が行えなくなっていたのを修正しました。
- ⑤ 「枝番名称を出力する」または「部門名称を出力する」にチェックを付けたうえで「付箋コメントを 20 文字出力する」にチェックを付けている状態で、用紙サイズを「A4 用紙・横」⇔「B4 用紙・横」と切り替えた際に、「付箋コメントを 20 文字出力する」のチェックが外れていたのを修正しました。

4) 伝票発行

- ①挿入仕訳がある場合、摘要欄の上段に貸方の摘要が、下段に借方の摘要が入っていた問題を修正しました。
※正しくは上段に借方の摘要、下段に貸方の摘要です。
- ② [F12 出力条件] の出力選択 1 で「改ページ：部門」、出力選択 2 で「一括税抜き仕訳の出力：部門別集計」と設定する場合、一括税抜き仕訳が部門ごとに改ページされていなかった問題を修正しました。
- ③ [F12 出力条件] の出力選択 2 で「一括税抜き仕訳の出力」にチェックを付けて、枝番別集計・部門別集計を行った場合、一括税抜き仕訳の『一 10』と『一 10 免』が別れずに合算された金額で表示されていた問題を修正しました。
- ④諸口を使用した同様の仕訳を 2 回以上入力した時に「仮受消費税等」が 2 行表示されていた問題を修正しました。

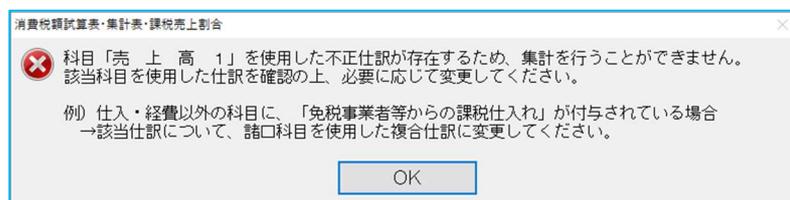
5) 科目設定・残高登録

- ①摘要仕訳編集画面で複合仕訳の編集を行っている際に、最終行以外で行削除し、明細行を追加した場合、消した行に上書きするような状態で登録されていたのを修正しました。

II. 出力

1) 消費税額試算表・集計表・課税売上割合

- ①仕入・経費以外の科目に免税事業者等からの課税仕入れが付与されている場合、消費税額試算表起動時に表示されるエラーメッセージが、エラー内容が判断できない内容となっていたため、下記の内容に変更しました。
※科目「〇〇」部分には、不正な科目の名称を表示します。



- ②下記条件に全て該当している場合、消費税額試算表の消費税額と消費税元帳や総勘定元帳の金額にずれが生じていたのを修正しました。
※現象が発生している場合、集計結果の修復にはマスター修復、仕訳変更等による再集計を行う必要があります。
《条件》
 - ・ 締日または決算期間末尾の設定により、「令和 5 年 9 月 21 日～令和 5 年 10 月 20 日」のように令和 5 年 10 月 1 日をまたぐ期間を 1 ヶ月として集計を行うマスター
 - ・ 経理方式：一括税抜(決算月)または一括税抜(決修月)
 - ・ 一括税抜方式：総額方式
 - ・ 税額計算：令和 5 年 10 月 1 日の設定が「割戻し計算」
- ③税額計算の通常月と税額計算混合月で「割戻し計算」の期間が連続している場合に、消費税額試算表の消費税額と消費税元帳や総勘定元帳の金額にずれが生じていたのを修正しました。
現象が発生するケースは「通常月の割戻し計算 → 税額計算混合月の割戻し計算」と遷移する場合のみで、「税額計算混合月の割戻し計算 → 通常月の割戻し計算」と遷移する場合は問題ありませんでした。
※現象が発生している場合、集計結果の修復にはマスター修復、仕訳変更等による再集計を行う必要があります。

- ④下記いずれかの条件に該当するマスターの場合、固定資産の譲渡仕訳の対価から集計する、消費税額分の固定資産売却益・固定資産売却損が消費税額集計表に集計されない問題を修正しました。

《条件》

税込マスター：固定資産の譲渡仕訳を外税で税額計算混合月に入力している場合

税抜、一括税抜（月単位）マスター：固定資産の譲渡仕訳を内税で税額計算混合月に入力している場合

一括税抜（決算月）マスター：決算月が税額計算混合月である場合

※現象が発生している場合、集計結果の修復にはマスター修復、仕訳変更等による再集計を行う必要があります。

- ⑤「免税事業者等からの課税仕入れ」のチェック OFF の仕訳が複数の税率、「免税事業者等からの課税仕入れ」のチェック ON の仕訳が単一の税率で入力されている状態で、消費税額集計表を出力した際に、「免税事業者等からの課税仕入れ」のチェック OFF の仕訳のみの場合と異なる位置にカナ・太枠が表示されていた問題を修正しました。

例) 仕入高 1/現金の仕訳を「免税事業者等からの課税仕入れ」OFF で 10%、8%軽、「免税事業者等からの課税仕入れ」ON で 10%の 3 つを入力している場合など

以上